日本教育学院 学習指導ガイドライン

日本教育学院（株式会社教学舎）は、生徒一人ひとりの人格と成長を尊重し、安心・安全で前向きに学べる教育環境の実現を目指します。

本ガイドラインは、職員の指導方針・行動基準・情報管理体制を明文化したものであり、すべての職員が遵守するものとします。

◎ 1. 人格を尊重した指導の徹底

- 生徒の人格を否定する発言（例：「バカ」「頭が悪い」など）や容姿・性格を揶揄する発言を**全面禁止**します。
- 指導は「行動改善と成長支援」を目的とし、比較や否定ではなく、建設的で肯定的な言葉かけを基本とします。
- 全職員に対し、**人権教育および心理的支援に関する研修を定期的に実施**します（心理カウンセラーとの年間契約）。

◎ 2. 暴力・威圧的行為の禁止

- 生徒や物への暴力行為、身体的・精神的威圧行為を**いかなる場合も禁止**します。
- 不適切な言動・行為が確認された場合は速やかに上長・本部へ報告し、保護者へも説明・再発防止策を提示します。

◎ 3. 過度な説諭の禁止

- 指導目的を逸脱した**長時間（概ね 10 分以上）の説諭**を禁止します。
- 説諭を行った場合は**校長への報告を義務付け**、内容の妥当性を確認します。
- 指導時は個別に静かな環境で行い、感情的にならず、事実確認から丁寧に進めます。
- 過去の出来事を持ち出して責めるような発言は行いません。

◎ 4. クラス移動や評価を条件とした言動の禁止

- 「毎日〇時に来なければクラスを変更する」「部活を辞めなければ進級できない」など、
  クラス変更・評価を条件とする指導や発言を禁止します。
- 学習方針やクラス編成の変更は、生徒本人と保護者の理解・合意を前提とします。

◎ 5. 学習と課外活動の両立支援

- 部活動や課外活動の価値を尊重し、**塾主導で優先順位を決定することは行いません。**
- 「勉強のために部活をやめるべき」などの発言で生徒に不必要な圧力を与えないよう配慮します。
- 恒常的な呼び出しや補習（再テストを除く）については、**保護者の同意を得た上で実施**します。

◎ 6. DBS（児童安全・行動基準）および安全管理

- 当学院では、全教職員に対して児童安全（DBS: Duty of Behavioral Safety）に関する研修を行い、倫理的で安全な指導体制を維持します。
- 校舎には防犯カメラを設置し、透明性と安全を確保しています。
- 個別面談・指導は、原則として職員室または監視可能な場所で行います。
- 事故・トラブル発生時は迅速に報告・共有し、保護者と誠実に対応します。

◎ 7. SNS・インターネット利用ポリシー

- 職員と生徒間での SNS や個人メッセージのやり取りは**原則禁止**します。
- SNS 投稿において、個人名・顔写真・成績など**個人を特定できる情報は掲載しません。**
- 学院公式 SNS では、教育的・公的な目的に限定して情報を発信します。
- 誹謗中傷や不適切投稿を防止するため、全職員に情報モラル教育を実施しています。

◎ 8. 個人情報・プライバシー保護

- 生徒・保護者の個人情報は、法令および当学院の個人情報保護規程に基づき厳重に管理します。
- 成績・出欠・進学情報を第三者へ提供する際は、**本人・保護者の同意を必ず取得**します。
- 授業・行事等で撮影した写真・動画は、同意を得た場合のみ使用します。
- 個人情報に関するお問い合わせ・訂正・削除の要望には速やかに対応します。

◎ 9. 保護者・地域との連携

- ご家庭・学校・塾の連携を重視し、生徒の成長を支える「三位一体の教育」を推進します。
- 地域との協力を通じ、健全な青少年育成と教育環境の発展に寄与します。
- 保護者からのご意見・ご相談には真摯に対応し、必要に応じて改善策を講じます。

◎ 10. 改定と継続的改善

本ガイドラインは、教育環境や社会情勢の変化に合わせて見直しを行い、より良い学習環境の提供を目指して継続的に改善します。

株式会社 教学舎
日本教育学院